

カムログインプラントシステム 印象採得・咬合採得・暫間修復

オープントレー法およびクローズドトレー法
プラットフォームスイッチング(オプション)のための印象採得
咬合採得
テンポラリーアバットメント
プラットフォームスイッチング(オプション)のためのテンポラリーアバットメント





目次

カムログインプラントシステムのシステム情報	4
印象採得	5
印象採得	5
オープントレー法	9
クローズドトレイ法	12
咬合採得	14
咬合採得	14
テンポラリーアバットメント	17
テンポラリーアバットメント	17
暫間修復物の作製	19

カムログインプラントシステムの システム情報

カムログインプラントシステム

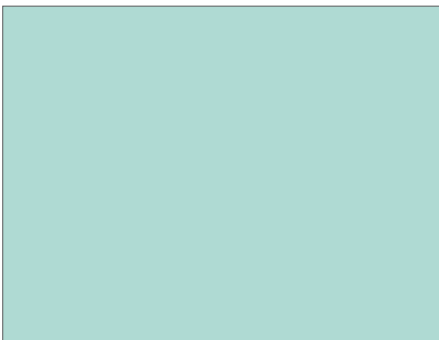
カムログインプラントシステムは、長年の臨床経験とラボでの経験に基づいた、ユーザーフレンドリーな補綴主導型のインプラントシステムです。

カムログ製品は、最新の技術基準に合わせて絶えず改良されています。カムログインプラントシステムは、カムログ研究開発チームと、歯科医院・大学および歯科技工士とのコラボレーションにより開発・製品化が継続的に進められており、最新の技術開発にも対応しています。

カムログインプラントシステムは、多くのデータによって科学的に実証されたシステムです。広範なパラメータ、例えばインプラント表面性状、インプラント埋入のタイミング、インプラント負荷時期、初期固定、連結デザイン及び上部構造のタイプ等が、数多くの研究によって裏付けられています。長期予後試験においても優れた結果が得られています。

留意点

これから述べるカムログインプラントシステムに関する説明は、すぐにお使いになられることを想定したものではありません。ご使用を開始される際は、カムログインプラントシステムの扱いに熟練したエキスパートの指導を仰ぐことを強く推奨いたします。カムログインプラントおよびアバットメントの使用は、本システムの訓練を受けた歯科医師、口腔外科医および歯科技工士に限られます。カムログでは適切な講習会および研修会を定期的に開催しています。治療法の誤りは、インプラントの脱落やインプラント周囲骨の重大な損失を招くおそれがあります。



印象採得

印象採得

はじめに

カムログインプラントシステムでは、クローズドトレイ法およびオープントレイ法による精度の高い、安定した印象採得が可能です。すべてのシステム構成部品は、インプラントの直径によりカラーコード化されています。インプラント体と印象採得用のパーツを使用する際は、直径が同じパーツを使用してください(カラーコードでご確認ください)。また、直径の異なるパーツの連結や、パーツの形態修正などはしないでください。

印象採得法

印象採得にはオープントレイ法かクローズドトレイ法が選択できます。オープントレイ法は、インプラント軸が大きすぎている場合や、機能印象を伴う印象採得が望ましい場合に選択します。また、ログフィットタイプやボールアタッチメントおよびブリッジ用アバットメントを使用する際はそれぞれ専用のインプレッションポストも使用可能です。

印象材

オープントレイ法およびクローズドトレイ法の印象材には、シリコンまたはポリエーテル材料が使用できます。

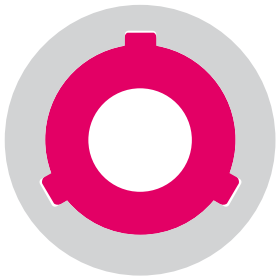
カムログインプラントK-シリーズ印象用パーツについて

スクリューインプラントK-シリーズ使用時に限り、プラットフォームスイッチング(オプション)が選択できます。PSの商品名のついたパーツをご使用ください。また、スタンダードのタイプのアバットメント選択時にもKの商品コードで始まるアバットメントを選択ください(ボールアタッチメント・ブリッジ用アバットメントを除く)。

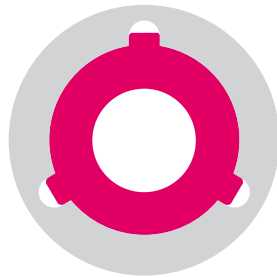
Kの商品コードで始まるインプレッションポストはすべてのカムログインプラントの同じ径のものに使用できます。



適合するケース



スクリーインプラントKシリーズのインプラントとKの商品コードのついたインプレッションポストの組み合わせ



Jの商品コードのついたインプラント(ルートフォーム)とKの商品コードのついたインプレッションポストの組み合わせ

適合しないケース



スクリーインプラントKシリーズのインプラントとJの商品コードのついたインプレッションポストの組み合わせ

グループが短くなったため、従来の長円形のカムは入りません

インプレッションポスト

オープントレー

商品コード	K2121.3300	K2121.3800	K2121.4300	K2121.5000	K2121.6000
直径	3.3 mm	3.8 mm	4.3 mm	5.0 mm	6.0 mm

クローズドトレイ

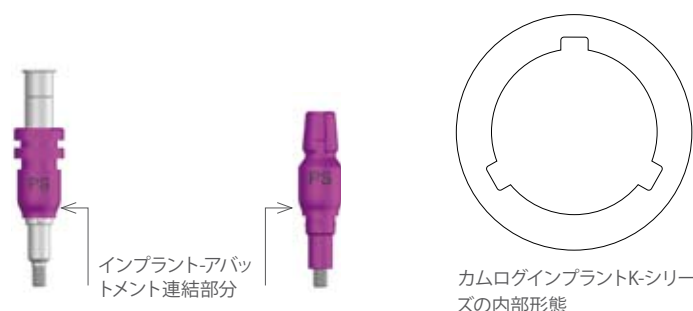
商品コード	K2110.3300	K2110.3800	K2110.4300	K2110.5000	K2110.6000
直径	3.3 mm	3.8 mm	4.3 mm	5.0 mm	6.0 mm

トランスファーキャップ

商品コード	J2111.3300	J2111.3800	J2111.4300	J2111.5000	J2111.6000
5ヶ入					
直径	3.3 mm	3.8 mm	4.3 mm	5.0 mm	6.0 mm

スクリーインプラントK-シリーズにおけるプラットフォームスイッチング (オプション) のための印象採得

プラットフォームスイッチングのオプションはスクリーインプラントK-シリーズ使用時に限り選択可能です。プラットフォームスイッチングを選択した際には、軟組織の治癒時には必ずジンジバフォーマーPSを使用してください。また、印象採得の際にもインプレッションポストPSが必要になります。これらのPSのパーツはインプラント基底面との境界部がインプラント径より小さくできており、プラットフォームスイッチングに適した形状をしています。



重要事項

- ・プラットフォームスイッチング(オプション)はスクリーインプラントK-シリーズに限り使用できます。
- ・軟組織を損傷させないために、必ずジンジバフォーマーPSおよびインプレッションポストPSを使用してください。

インプレッションポストPS(プラットフォームスイッチング用)

オープントレー

商品コード	K2119.3800	K2119.4300	K2119.5000	K2119.6000
直径	3.8 mm	4.3 mm	5.0 mm	6.0 mm

※3.3mmはありません

クローズドトレイ

商品コード	K2109.3800	K2109.4300	K2109.5000	K2109.6000
直径	3.8 mm	4.3 mm	5.0 mm	6.0 mm

※3.3mmはありません

トランスファーキャップ

商品コード	J2111.3800	J2111.4300	J2111.5000	J2111.6000
直径	3.8 mm	4.3 mm	5.0 mm	6.0 mm

5ヶ入

注記

インプレッションポストPS(オープントレー/クローズドトレイ)による印象採得の方法はスタンダードタイプと同様です。



インプラントアナログ



技工作業の際にはヘックススクレイドライバーを使用します。
(エクストラショート/ショート/ロング)



φ3.3mm φ3.8mm φ4.3mm φ5.0mm φ6.0mm用

※インプラントアナログはK-シリーズでの変更はありません。
従来のJ3010.××00をご使用ください。

カムログインプラントシステム カラーコード

カラー	直 径
● グレー	3.3 mm
● イエロー	3.8 mm
● レッド	4.3 mm
● ブルー	5.0 mm
● グリーン	6.0 mm

重要事項

- ・カムログインプラントシステムの印象採得用のパーツはすべて単回使用です。また、製品に加工を加えて使用することはできません。
- ・インプラントアナログのグループの形状は従来の長円形です。

オーブントレー法

インプレッションポスト オーブントレーはカラーコード化され、内部に固定スクリューが装着されており、O-リングにて固定されています。またPSタイプはプラットフォームスイッチングのオプション選択時に使用します。オーブントレー法で印象採得する場合は、事前に各個トレーの準備が必要です。印象採得の際には、各個トレーの穴からスクリューを緩め、インプラント軸延長方向に引き上げてください。インプレッションポストの固定スクリューがリリースできるように、インプラント軸延長上に穿孔します。



インプレッションポスト オーブントレー

インプレッションポストPS オーブントレー(プラットフォームスイッチング用)

インプレッションポストの固定スクリューをインプラント体やインプラントアナログに装着する場合は必ずヘックススクリュードライバーを使用してください。



インプレッションポスト

インプラントアナログ

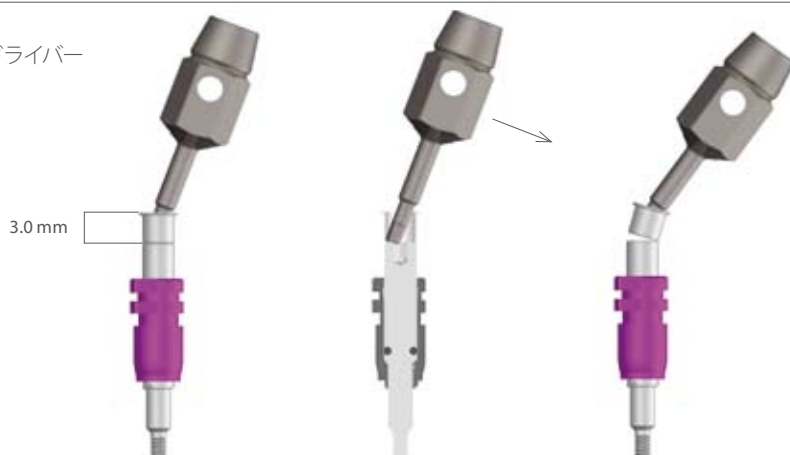
注記

印象を取り外す際は、スクリューを緩めて停止位置 (O-リング) に当たるまで引き上げます。インプラント軸の傾斜によって印象が取り外せないことや過剰な圧縮によって印象が変更することがあります。



インプレッションポストの固定スクリューはヘックススクリュードライバーを使用し上部3mmの部分短くして使用することができます。

注意！ 切断作業は必ず口腔外で行ってください。

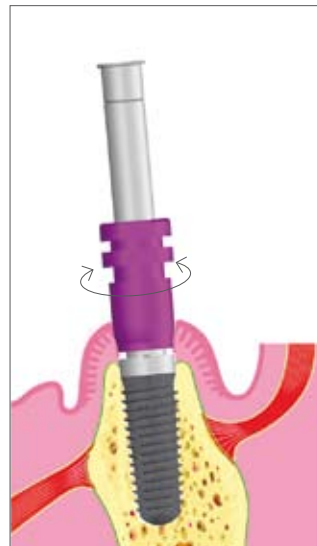
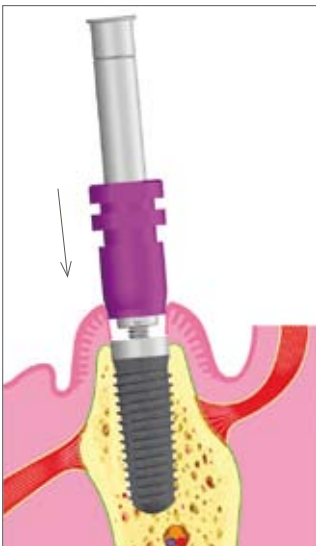


インプレッションポストの挿入

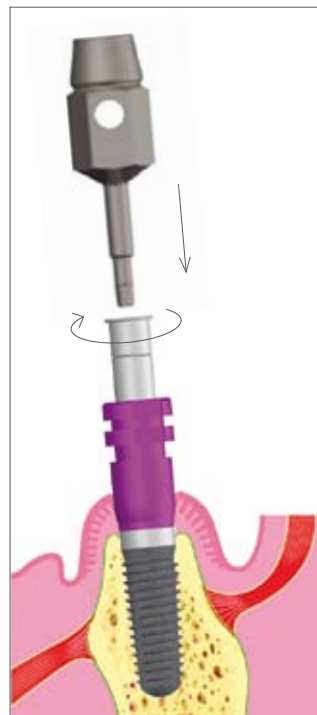
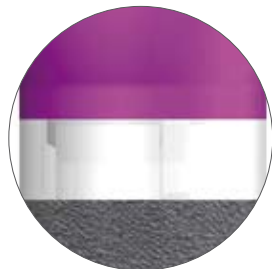
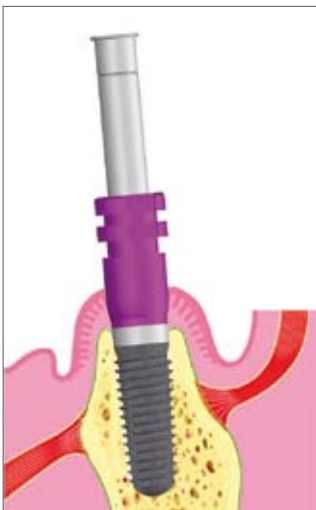
ジンジバフォーマーまたはテンポラリーアバットメントを取り外します。インプレッションポストを挿入する前に、固定スクリューをインプラントの軸に合わせて根尖方向に完全に挿入します。

インプレッションポストオープントレーをインプラントに装着し、固定スクリューを軽く締めます。インプレッションポストを回転させ、カムがインプラント側のグループに収まったことを確認してください。この際、3つあるカムの方向を特定させる必要はありません。

注意！ カムがグループに収まっていない場合、約0.4mmの段差が生まれます。

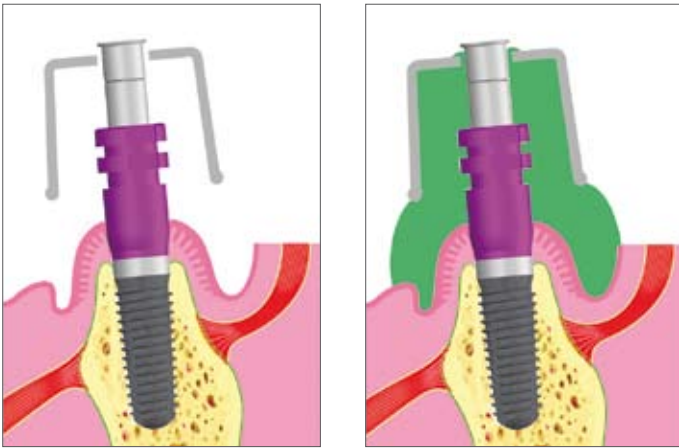


固定スクリューは、ヘックススクリュードライバーを使用して手で締め込みます。歯肉が厚くきつい場合は、印象採得する前にX線でインプレッションポストが正しく装着されたかどうか確認することをお勧めします。



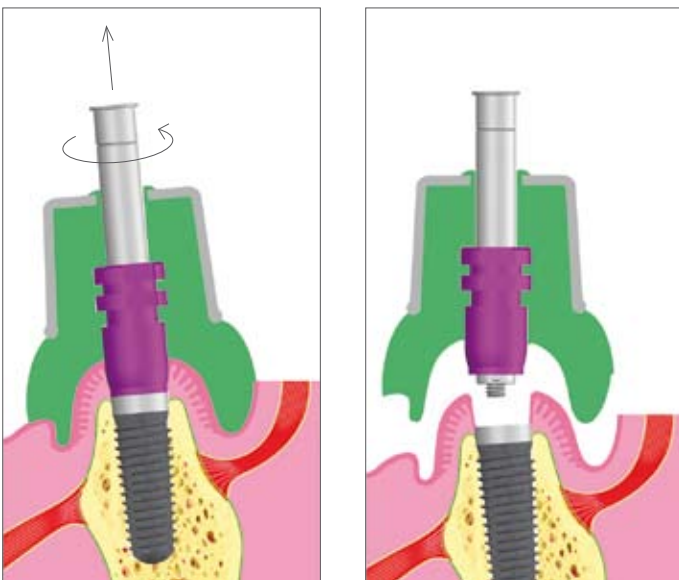
印象採得

印象採得する前に、トレーが正確に適合しているかどうかを確認します。穴から出ている固定スクリーがトレーに接触していないことを確認した後、シリコンまたはポリエーテルの印象材を使用して印象を採得します。



印象を取り外す際は、固定スクリーを完全に緩め、上方に停止位置まで引き上げてから印象を外します。

ヒント：模型製作の効率化のために、印象と一緒にインプラントアナログを技工所に送付することをお勧めします。



注記

プラットフォームスイッチング用のインプレッションポストPS オープントレーによる印象採得の方法はスタンダードタイプと同様です。

クローズドトレー法

クローズドトレー法のパーツは直径ごとにカラーコード化されています。インプレッションポストには固定用スクリュー、トランスファーキャップ、パイトレジストレーションキャップが付属しています。

クローズドトレー法での印象採得は既製のトレーが使用できます。

また、固定スクリューにはヘックススクリウドライバー(エクストラショート/ショート/ロング) を使用してください。



インプレッションポストの挿入

ジンジバフォーマーまたはテンポラリーアバットメントを取り外した後、インプレッションポストに固定スクリューを付けてインプラントに挿入します。カムがインプラントのグループにかみ合うまで、インプレッションポストを回転させます。



インプレッションポスト クローズドトレー



インプレッションポストPS クローズドトレー (プラットフォームスイッチング用)



インプレッションポスト装着時(固定スクリューを締結する前)では、約2mmスクリューのヘッドの部分が出ています。



固定スクリューを締める(4-5回転)と、インプレッションポストの上部と同一平面上になります。

注記：インプレッションポストのカムがグループに正しく収まった場合、ポスト先端より固定スクリューが約2mm出しています。

固定スクリューは、ヘックススクリュードライバーを使用して手で締め込みます。歯肉が厚きつい場合は、印象採得する前にX線でインプレッションポストが正しく装着されたかどうか確認することをお勧めします。

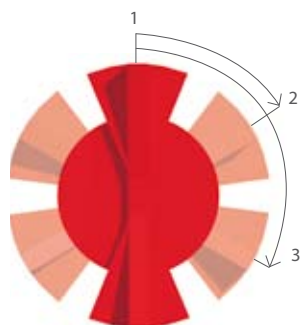
印象採得

カラーコードされたトランスファーキャップをインプレッションポストのガイド溝に沿って、完全に奥まで挿入した感触が得られるところまで差し込みます。インプレッションポストのガイドグループは120°の間隔で3カ所についており、隣接するトランスファーキャップまたは歯牙に接触しない位置を選択して挿入します。トランスファーキャップのウイングは切り取らないでください。

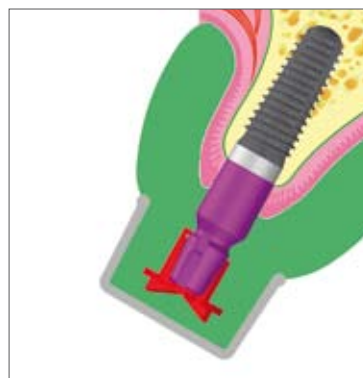


印象採得前に、もう一度トランスファーキャップの位置が正しいことを確認します。

印象トレーを外したら、トランスファーキャップは印象材に取り込まれます。トランスファーキャップがうまく取り込まれなかった場合は、再度印象採得をしてください。



トランスファーキャップはインプレッションポスト装着時に3方向を選ぶことが可能です。



ヒント：模型製作の効率化のために、印象と一緒にインプラントアナログを技工所に送付することをお勧めします。

固定スクリューを紛失しないように気付けてください。

注記
プラットフォームスイッチング用のインプレッションポストPS クローズドトレーによる印象採得の方法はスタンダードタイプと同様です。

咬合採得

咬合採得

はじめに

咬合採得はバイトレジストレーションポストまたはインプレッションポスト クローズドトレイ用とバイトレジストレーションキャップ(共通) を使用して行うことができます。バイトレジストレーションキャップはバイトレジストレーションポスト、インプレッションポスト クローズドトレイおよびインプレッションポストPS クローズドトレイに付属しています。



バイトレジストレーションポスト

商品コード	J2140.3300	J2140.3800	J2140.4300	J2140.5000	J2140.6000
直径	3.3 mm	3.8 mm	4.3 mm	5.0 mm	6.0 mm

バイトレジストレーションポストはプラットフォームスイッチング用としても使用できます (φ3.3mmを除く)

インプレッションポスト クローズドトレイ

商品コード	K2110.3300	K2110.3800	K2110.4300	K2110.5000	K2110.6000
直径	3.3 mm	3.8 mm	4.3 mm	5.0 mm	6.0 mm

インプレッションポスト クローズドトレイPS

商品コード	K2109.3800	K2109.4300	K2109.5000	K2109.6000
直径	※3.3mmはありません 3.8 mm	4.3 mm	5.0 mm	6.0 mm

バイトレジストレーションキャップ

商品コード	J2112.3300	J2112.3800	J2112.4300	J2112.5000	J2112.6000
直径	3.3 mm	3.8 mm	4.3 mm	5.0 mm	6.0 mm

※バイトレジストレーションキャップはバイトレジストレーションポストおよびインプレッションポストクローズドトレイ (PS含む) 両方に使用できます

注記

インプレッションポストPS (クローズドトレイ) による咬合採得の方法はスタンダードタイプと同様です。



インプラントアナログ



技工作業の際ヘックススクリュードライバーが使用できます。(エクストラショート/ショート/ロング)



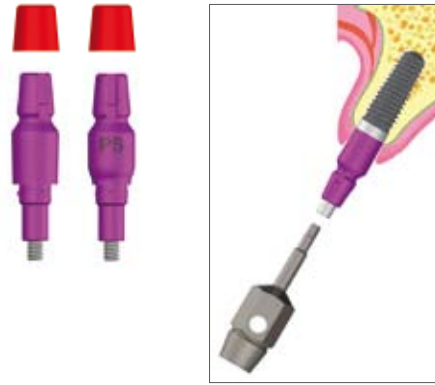
φ3.3mm φ3.8mm φ4.3mm φ5.0mm φ6.0mm用
※インプラントアナログはK-シリーズでの変更はありません。
従来のJ3010.××00をご使用ください。

重要事項

- ・カムログインプラントシステムの印象採得用のパーツはすべて単回使用です。また、製品に加工を加えての使用はできません。
- ・インプラントアナログのグループの形状は従来の長円形です。

インプレッションポスト クローズドトレーを使用した咬合採得

あらかじめ内部を洗浄したインプラントにインプレッションポスト クローズドトレーを挿入し、ヘックススクリュードライバーを使用して固定スクリューを手締めします。



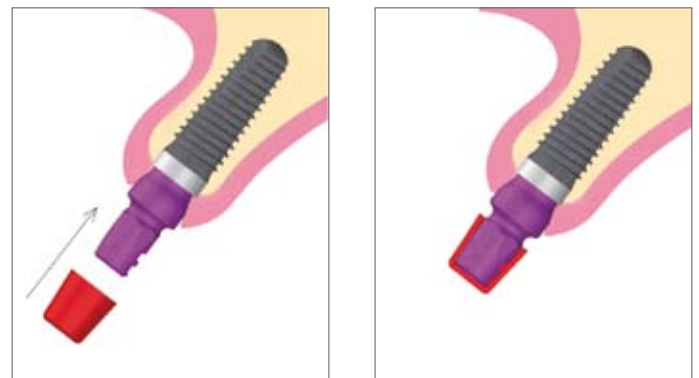
バイトレジストレーションポストを使用した咬合採得

あらかじめ内部を洗浄したインプラントに、バイトレジストレーションポストを挿入しヘックススクリュードライバーを使用して固定スクリューを手締めします。

カラーコードを確認したうえでインプレッションポストにバイトレジストレーションキャップを装着し、咬合を確認します。カチッという音により正しく装着されたことが確認できます。

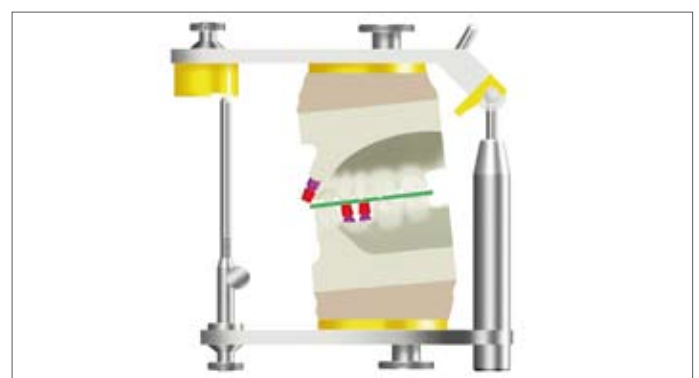


インプレッションポスト クローズドトレーを利用した咬合採得



バイトレジストレーションポストを利用した咬合採得

咬合採得には適切な材料をご使用ください。バイトレジストレーションキャップをバイト側に付着させないように気を付けてください。



バイトレジストレーションポストまたはインプレッションポスト クローズドトレーからバイトレジストレーションキャップを取りはずして固定スクリューを緩めた上で、模型内の同径のインプラントアナログ(カラーコードにて確認)にスクリューにて固定してください。そして通常の方法で咬合器にマウントします。

テンポラリーアバットメント

テンポラリーアバットメント

はじめに

PEEK製のテンポラリーアバットメントは、最長6カ月程度の短期から中期の暫間修復に使用できます。インプラントおよびインプラント周囲組織の十分な治癒期間（オッセオインテグレーション）を経た後に最終補綴のための印象採得を行います。

カムログインプラントK-シリーズ印象用パーツについて

スクリューインプラントK-シリーズ使用時に限り、プラットフォームスイッチング(オプション)が選択できます。PSの商品名のついたパーツをご使用ください。また、スタンダードタイプのアバットメント選択時にもKの商品コードで始まるアバットメントを選択ください（ボールアタッチメント・ブリッジ用アバットメントを除く）



テンポラリーアバットメント

商品コード	K2241.3800	K2241.4300	K2241.5000	K2241.6000
直径	3.8 mm	4.3 mm	5.0 mm	6.0 mm

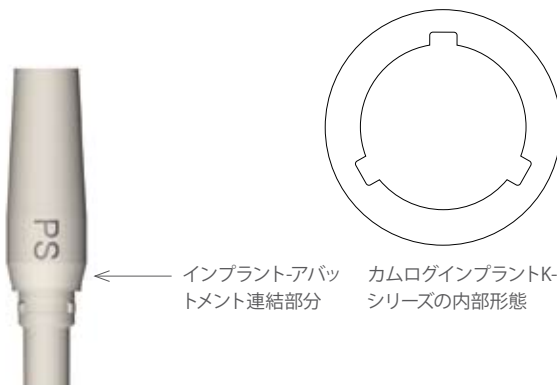
※3.3mmはありません

12.0 mm

テンポラリーアバットメント装着時は固定スクリューを手締めしてください。

スクリューインプラントK-シリーズ プラットフォームスイッチング(オプション)用の テンポラリーアバットメントPS

プラットフォームスイッチングのオプションはスクリューインプラントK-シリーズ使用時に限り選択可能です。プラットフォームスイッチングを選択した際には、軟組織の治癒時には必ずジンジバフォーマーPSを使用してください。また、暫間補綴時にはテンポラリーアバットメントPSが必要になります。これらのPSのパーツはインプラント基底面との境界部がインプラント径より小さくできており、プラットフォームスイッチングに適した形状をしています。



重要事項

- ・プラットフォームスイッチング(オプション)はスクリューインプラント K-シリーズに限り使用できます。
- ・暫間補綴時の軟組織の損傷を防ぐために、必ずジンジバフォーマー PSおよびテンポラリーアバットメントPSを使用してください。

テンポラリーアバットメントPS

商品コード	K2208.3800	K2208.4300	K2208.5000	K2208.6000
直径	3.8 mm	4.3 mm	5.0 mm	6.0 mm

※3.3mmはありません

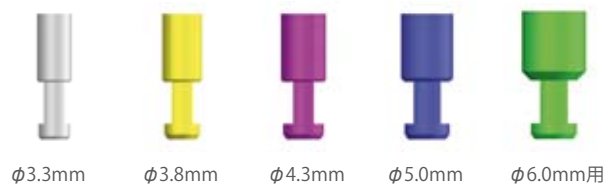
テンポラリーアバットメントPS装着時は固定スクリューを手締めしてください。

注記

プラットフォームスイッチング用のテンポラリーアバットメントPSによる暫間補綴の使用方法はスタンダードタイプと同様です。



インプラントアナログ



※インプラントアナログはK-シリーズでの変更はありません。
従来のJ3010.××00をご使用ください。

技工作業の際のヘックススクリウドライバーが使用できます。
(エクストラショート/ショート/ロング)



ラボスクリュー
インプラント直径3.8/4.3mm用

ラボスクリュー
インプラント直径0.5/6.0mm用

暫間修復物の作製

テンポラリーアバットメントの形成

テンポラリーアバットメントをインプラントに挿入し、カムがインプラントのグループにかみ合うまで回転させます。アバットメントスクリューをアバットメントに挿入し、ヘックススクリュードライバーを使用して手で締め込みます。

歯肉のラインに合わせて、前庭中心部とマージンラインをアバットメントにマークします。



テンポラリーアバットメントの挿入

周辺組織の汚染を防ぐために、必要なテンポラリーアバットメントの研磨は口腔外で行います。

周囲組織への影響をなくすため、テンポラリーアバットメントの形成は口腔外で行ってください。

形成の際にはアバットメント形成用ホルダーなどが便利です。



アバットメントスクリュー保護のため、テンポラリーアバットメント形成時にはラボスクリューを使用することをお勧めします（ご使用の径をご確認ください）。



歯肉ラインに沿ったマークに合わせて、通常の歯周補綴と同様に形成します。この形成にはダイヤモンドバーを高回転、無注水、低加圧で使用します。審美的な修復ではシャンファー形態やクラウンマージンは歯肉辺縁部と同位置に、それ以外の修復の場合はインプラント周囲組織の解剖学的立ち上がり形態を獲得するために1.0–1.5mm歯肉縁下に位置させます。アバットメントの挿入位置がわかりやすいようにアバットメントの唇側にマークします。



マージンラインのマーキング



インプラントアナログに装着したアバットメントの形成

テンポラリークラウン/ブリッジ (チェアサイド)

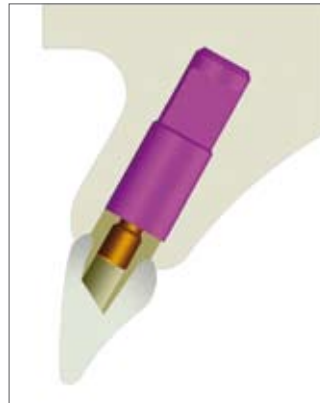
テンポラリーアバットメントをインプラントに装着し、アクリル材料を用いてテンポラリークラウン/ブリッジ (ストリップクラウン) をテンポラリーアバットメントに固定します。事前にワックスなどでアクセスホールを封鎖しておくことでアクリル材料が流れ込むのを防ぐことができます。

注記

クラウンの挿入方向は隣在歯によって決まりますが、この方向がインプラントの軸方向と一致することはほとんどありません。このような理由からブリッジはテンポラリーアバットメントとワンピースで製作しないほうが賢明です。最初にテンポラリーアバットメントを装着してスクリュー固定してから、ブリッジを装着してください。

テンポラリークラウン/ブリッジ (技工サイド)

テンポラリークラウン/ブリッジ (ラボサイド) 暫間補綴物は模型を使用して技工所にて製作することも可能です。その際は通常のクラウンやブリッジの際と同様に行ってください。

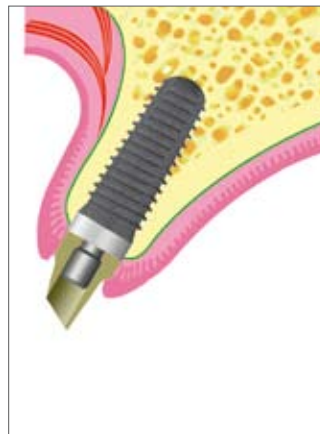


作業模型に装着したカスタマイズされたテンポラリーアバットメント

テンポラリーアバットメントの装着

テンポラリーアバットメント装着前に、インプラント体内部を洗浄および完全に乾燥させます。テンポラリーアバットメントをインプラント体に挿入し、アバットメント側のカムがインプラント側のグループに合致するまで回転させます。ヘックススクリウドライバーで手締めした後、ワックスなどでアクセスホールを封鎖します。この際、コンポジットレジンを使用してしまうと、固定スクリューを取り外す際ドリリングが必要になるため使用しないでください。

アクセスホールの封鎖は充填物を入れすぎないように注意し (凹んだ状態) 余剰セメント (テンポラリーセメント) を除去してください。



他の文書

カムログ製品に関するその他の情報に関しては、下記の文書をご参照ください。

- ・最新のプロダクトカタログ
- ・添付文書 各カムログ製品に付属
- ・マニュアル
- ・www.camlog.com

登録商標および著作権

保護された商標名（登録商標）は特別に明示しておりません。明示の無い場合でも、商標名が登録されていないことを意味するものではありません。本文書は、すべての内容を含めて著作権で保護されています。CAMLOG Biotechnologies AG社との合意によらない著作権の範囲を超えた使用は認められず、法律による処罰の対象となります。

カムログアバットメント	医療機器承認番号	21200BZY00583000
カムログインプラント	医療機器承認番号	21200BZY00584000
カムログインプラント K-シリーズ	医療機器承認番号	22200BZX00868000
カムログインプラント 補綴用器具	医療機器届出番号	27B1X00027000026
バイトレジストレーションポストショート キャップ付	医療機器届出番号	27B1X00027000065
印象用キャップ	医療機器届出番号	27B1X00027000067
インプレッションポスト	医療機器届出番号	27B1X00027000069
インプラントアナログ	医療機器届出番号	27B1X00027000081
ヘックススクレールドライバー 0.05インチ	医療機器届出番号	27B1X00027000085
インプレッションポストPS	医療機器届出番号	27B1X00027000091

製造販売業者 株式会社アルタデント

本社 〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目8-31 第三東洋ビル2F TEL(06)6377-2221 FAX(06)6377-2223
東京支社 〒108-0072 東京都港区白金1-25-20 プレシースビル本館4F TEL(03)5420-2290 FAX(03)5420-4790

製造業者 ALTATEC GmbH Maybachstr5, 71229Wimsheim, Germany

2011.3-1

camlog
ALCADENT アルタデント
株式会社
www.alta-dent.com